

# 選 手 注 意 事 項

1. 競技は、2018年度日本陸上競技連盟規則及び本大会規定に準じて行う。ただし、不正スタートについては、同じ競技者が2回の不正スタートをしたとき、その競技者は失格となる。
2. 選手受付について
  - (1) 受付時間は、競技開始時刻30分前に開始し、15分前に完了すること。  
選手点呼は、必ず本人が受け、ナンバーカードを係員に示すこと。
  - (2) 受付時間内に点呼を受けなかった選手は、棄権とみなし出場できない。
  - (3) 2種目以上に出場する選手は、監督がその旨を係員に申し出て、競技の進行に支障の無いように配慮すること。(トラック種目優先)
  - (4) 選手集合場所から試合場に移動するときは、係員の指示に従って規律ある行動をすること。
3. 服装について
  - (1) ナンバーカードは、胸・背部にしっかりと安全ピン等で止めること。
  - (2) 男女とも競技にふさわしい服装で競技に挑むこと。
  - (3) スパイクシューズを使用する場合は9mm以下の全天候型陸上競技場専用のピンとする。
4. 競技におけるレーン順や試技順は総務が抽選して行う。ただし、つぎのラウンドへの進出選手(+α)の人数を超えて下位の同記録者が出た場合、それらの選手はつぎのラウンドに進出できない。(着差がある場合を除く)
5. 次のラウンドへの進出人数(+α)が決められている種目でも、その種目において救済等の処置が生じた場合は進出人数(+α)を減じる事がある。
6. 100m、80mH及び400mリレーの第1走者のスタートはクラウチングスタートとする。ただし、スターティングブロックの使用は義務づけない。
7. 800m、1500mはオープンレーンで行い、24名以上はタイムレースとする。
8. 走高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。  
5・6男 1m05 1m10 1m15 1m20 1m25 1m30 以下3cm  
5・6女 1m00 1m05 1m10 1m15 1m20 1m25 以下3cm  
 ただし、当日のグランド状況等により最初の高さを下げる場合がある。その場合の下げ幅は5cmとし、フィールド審判長が決定する。
9. 80mHの2組以上のレースは、タイムレースとする。
10. 走幅跳・ジャベリックボール投・砲丸投の試技は3回とする。
11. ジャベリックボール投については、助走距離は15m以内とし、投げる方向の角度はやり投と同じルールで行う。男女ともジャベリックボールを使用し、計測は3回の試技が終了してからまとめて行う。
12. リレーオーダー用紙は、競技開始1時間前までに必ず本部受付に提出すること。
13. 抗議の申し立ては、チーム監督が申し出ることとする。
14. 競技場内には当該選手と競技役員以外の入場を認めない。
15. 表彰は、各種目8位までの入賞者とするが、競技進行上、閉会式終了後に各学校毎にまとめて用意するので、本部まで受け取りに来ること。
16. 全道大会出場標準記録

種 目	4年男子	5年男子	6年男子	4年女子	5年女子	6年女子
100m	15"30	14"50	13"70	15"60	14"80	14"20
800m	2'53"00	—	—	2'57"00	2'50"00	2'43"00
1500m	—	5'20"0	5'10"0	—	—	—
80mH	—	15"70	14"50	—	16"20	15"50
400mR	1'04"00	1'01"00	56"50	1'05"50	1'02"50	58"50
走高跳	—	1m15	1m25	—	1m10	1m20
走幅跳	3m60	4m00	4m50	3m30	3m70	4m00
砲丸投	—	—	8m50	—	—	6m50
Jボール投	39m00	46m00	56m00	26m00	35m00	44m00

※3年生種目については標準記録を設けない。トラック種目は3位、フィールド種目は2位までに入賞した選手が全道大会に出場できる。